

「チリとチリリ ちかのおはなし」どいかや



「チリとチリリ」シリーズの新しい作品です。このシリーズはふたりの女の子、チリとチリリが自転車に乗ってさまざまな場所へおでかけをするお話。今回のお話は、地下の壁から逃げた動物を追いかけるところから始まります。地下はらっかせい畑やお花畑が広がっていました。逃げた動物は一体何でしょう？

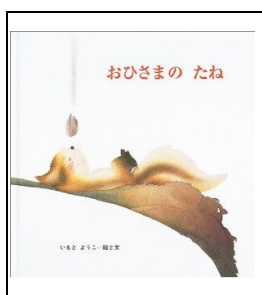
* アリス館 * B5 * 2013年4月



「はなねこちゃん」竹下文子・石井勉

表紙の絵はきれいな花に囲まれてこっちを見ている猫。猫は女の子のはなちゃんが紙に描いた絵の猫で、名前は「はなねこちゃん」。はなちゃんは猫のヒゲを描くのを忘れて遊びに行ってしまう。はなねこちゃんは、はなちゃんを探しにいきますが…。はなねこちゃんは紙なので歩き方がひょろひょろふらふら～！

* にじいろえほん * 小峰書店 * A4 * 2013年5月



「おひさまのたね」いもとようこ

ページをめくるたびにどんどんお話の世界が広がる楽しい作品。主人公のリスは大好物のひまわりの種を見つけて大よろこびです。おなかがいっぱいになったリスは、春まですやすやと眠り…目をあけてびっくり！残したタネから立派な芽が出ていたのです。芽はどんどん成長していき、とてもきれいな花が咲きました…。

* 至光社ブッククラブ国際版絵本 * 至光社 * B5変 * 2003年1月



「やっぱりこうらはかめのもの」森町長子

夏の暑い一日を描いたおはなし絵本です。おさんぽの途中でカメは木陰を見つけてひと休みをします。いつのまにかうとうと眠ってしまい…。カメが眠っているあいだに動物たちが次々とやってきてカメのこうらに入ります。ページのすみには動物がかくれているので次に登場する動物がわかるしかけが楽しい。

* たんぽぽえほんシリーズ * 鈴木出版 * A4 * 2000年6月



「あかちゃんぐまはなにみたの？」アシュリー・ウルフ

大きなサイズの作品で、大きなくまの親子をのびのびと描いています。ページいっぱいに広がるお母さんくまの表情はとてもやさしく安心感を与えてくれます。赤ちゃんぐまは目にうつるすべての物にギモンを持ち、そのたびにお母さんは答えます。さくまゆみこさんの訳がステキです。

* 岩波書店 * B4 * 2013年4月